

学校評議員会が開かれました

令和5年10月25日、学校評議員会が本校で開かれました。これは、地域住民の方の学校運営への参画の仕組みを制度化した学校評議員制度に基づいて、平成12年の学校教育法施行規則改正以来、毎年行っているものです。

本校では、学校評議員として5名の方を委嘱しています。本校の学校教育について随時お一人お一人にご意見を伺うとともに、全員の方にお集まりいただいて学校の抱える諸課題について意見交換を行っていただき、学校運営を行う上での参考とさせていただいています。

今年度の学校評議員会では、今年で14年目を迎える「学校評価アンケート（生徒向け及び保護者向け）」の結果に基づいて、本校生徒の現状や本校の教育に対する保護者の方々の受け止め方を分析し報告しました。

続いて、学校の現状と課題として、「『主体的・対話的で深い学び』についての取り組み」や「新制服と私服併用のスタート」について説明するとともに、「生徒・学校の現況」「総合的な探究の時間の取り組み」等について報告しました。

意見交換の中では、「65分授業をどのように有意義なものにしていくことができるか」という点や、「コロナ期間を経て、生徒間の人間関係や発信力についてどのような変化があったか」といった点について触れられ、現代の高校生を取り巻く環境に高い関心を持って、お尋ねとご助言をいただきました。

「現代はダイバーシティで、いろいろな将来、進路選択がある。高校生の中に様々な選択肢に触れ、豊かな進路選択をしてほしい」「昨今の高校生はじめ社会全体において、新聞が読まれる機会が減った。インターネットに頼った情報収集では偏った知識・経験になりかねない。是非、新聞を読む機会を増やしてほしい」「これから先の時代を生きる上で、自分で課題や疑問を持ち、それを解決するための活動を行うことが、とても有意義なものになるでしょう」とご助言をいただきました。学校祭にお越しになった際に触れ合った菊里生から「ものすごいエネルギーを感じた」とお褒めのお言葉もいただきました。菊里高校での3年間を通して、高い品性と自主自律の精神を兼ね備え、元気で自己実現ができる生徒が育てられるよう、今後も検討を重ねていきたいと考えております。学校評議員の皆様からの貴重なご意見やご指摘をもとに、今後の学校運営のさらなる改善を図ってまいります。